

■ 会員へのサービス

1 委員会へのご参加

本会では、本会の事業を推進する機関として、分野ごとに5つの委員会を設置しており、会員の皆様は、ご希望の委員会に所属、ご参加いただけます。委員会では、各種課題等に関する講演会や視察、ワーキングなどを通じて、調査研究を行い、会員の皆様のご意見やご希望を基に、施策の立案、政府・関係機関に対する意見や要望の取りまとめなどを行い、事業の推進に取り組めます。

2 地域委員会へのご参加

本会では、九州・山口各県に9つの地域委員会を設置しています。各地域の諸課題を調査研究し、九経連全体の活動に反映させることでその実現を図ることを目的としています。各地域の会員の皆様は、この地域委員会にご参加いただけます。（なお、沖縄地域については、地域委員会に代わるものとして、沖縄連携フォーラムを毎年開催しています。）

3 他の経済団体との交流

本会では、経団連の会長、副会長との懇談会（九州経済懇談会）、沖縄の経済団体との懇談会（沖縄連携フォーラム）、西日本地域の6つの経済連合会との協議会（西日本経済協議会）等を開催しております。会員の皆様は、これらにご参加いただけます。

4 情報発信

本会の会合のご案内・活動報告については、ホームページおよび公式Instagramに掲載いたします。メールサービスにご登録いただくことによって、ホームページの新着記事についてお知らせします。その他、本会にて取りまとめた提言や各種関連資料などをお届けいたします。また年4回「九経連四季報」を発行し、本会の取り組みについて詳しくご紹介いたします。



5 その他

企業経営や地域の活性化に関するご意見やご要望に対応いたします。また、海外進出や輸出についてのご相談にも応じます。本会の活動へのご参加を通じて、多くの会員企業の皆様とのネットワーク、企業連携をつくることもできます。

■ 入会方法

ー入会手続きと会費についてー

九州・山口・沖縄地域の均衡ある発展という本会の活動趣旨にご賛同いただける法人及び団体であれば、規模・業種は問いません。

① 入会手続き

本会総務国際部までご連絡ください。
ご訪問/オンラインでのご説明/メールでの概要ご連絡等、ご要望に応じ対応いたします。その後、入会申込書（本会所定様式）をご提出いただきます。

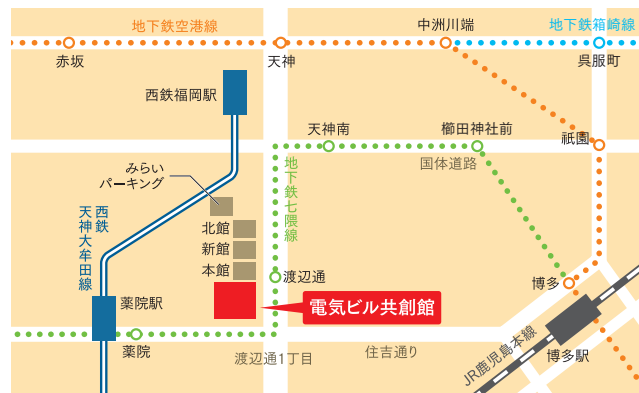
② 入会金

5万円

③ 年会費

1口15万円

※会費期間は4月から翌年の3月までの1年間で、初年度は入会月から3月までの会費を月割りでご請求いたします。



お問い合わせ先

一般社団法人 九州経済連合会 総務国際部

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号電気ビル共創館6階

TEL (092) 761-4261・FAX (092) 724-2102

URL <https://www.kyukeiren.or.jp>

E-mail info@kyukeiren.or.jp

2026年7月改訂

Kyushu Economic Federation

九経連 入会のご案内

■ ごあいさつ



池辺 和弘

九州経済連合会 会長

九経連は1961(昭和36)年、石炭から石油へのエネルギー転換や急速な経済成長によって、多くの地域課題が山積する中、「個別企業の枠を越えて、九州を発展させなければならない」という強い危機感から、経団連、関西、中部に次いで全国で4番目の総合経済団体として設立されました。それ以来、地域経済の発展に向けて、九州自動車道や九州新幹線などの交通基盤整備、自動車や半導体関連産業の集積強化、九州一体となって観光を振興する「九州観光機構」の設立などに取り組んできました。現在、ウクライナや中東など地政学的な政情不安が企業活動に影響を及ぼしており、資源を海外に委ねるわが国では、円安も相まって物価上昇が続いています。

さらには、人口減少や担い手不足といった構造的課題も深刻化し、DXやGXへの取り組みが急がれる中で、とりわけAIの急速な進展により、企業をはじめ社会全体が大きな転換期を迎えています。

こうした社会経済情勢のもとでは、これまでの常識や枠組みを越えた制度改革や連携協力が重要であり、産学官が一丸となって課題解決に取り組んでいかなければなりません。

2025年6月に会長を拝命して1年が経ち、まずは、九州の立ち位置を確認するため、域内各地を巡って会員の声を聞く一方で、九州地域戦略会議等を通じて、行政や経済団体とも意見交換を行いながら、地域課題の把握に努めてきました。

今年度は、「九州将来ビジョン2030」の第2期中期事業計画(2024～2026年度)の最終年度であり、これまでの取り組みを総括し、次の中期計画に向けて課題を整理していかなければなりません。

具体的には、AIの急速な進展を背景とした社会変革を注視しつつ、半導体や農林水産業といった九州の強みを成長エンジンに、広域連携を図りながら地域経済を牽引してまいります。

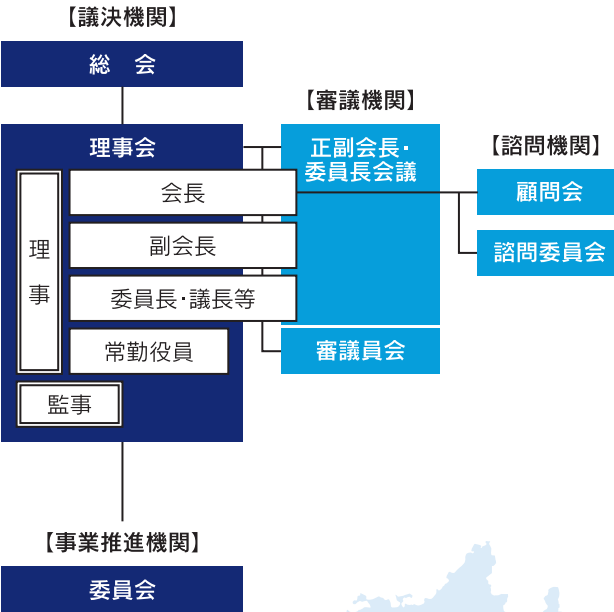
また、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みや、次代を担う「人への投資」を強力に推し進めるとともに、「ツール・ド・九州」や「九州MaaS」のさらなる拡充、デジタルを活用した災害対策の高度化など、ハード・ソフト両面のインフラ整備を推進することで、若者や女性から選ばれる魅力的な地域づくりを目指してまいります。

「まとまりの良さ」を武器に、九州の力を結集して着実に成果を出していくことで、成長と分配の好循環につなげます。また、地域の魅力が高まることで自ずと人が集まってくるといった地方創生の新たなモデルの確立に向けて、九経連ならではの共創事業を力強く推進してまいります。

九経連の活動にご支援、ご協力を賜りますよう、ご入会を心よりお待ちしております。

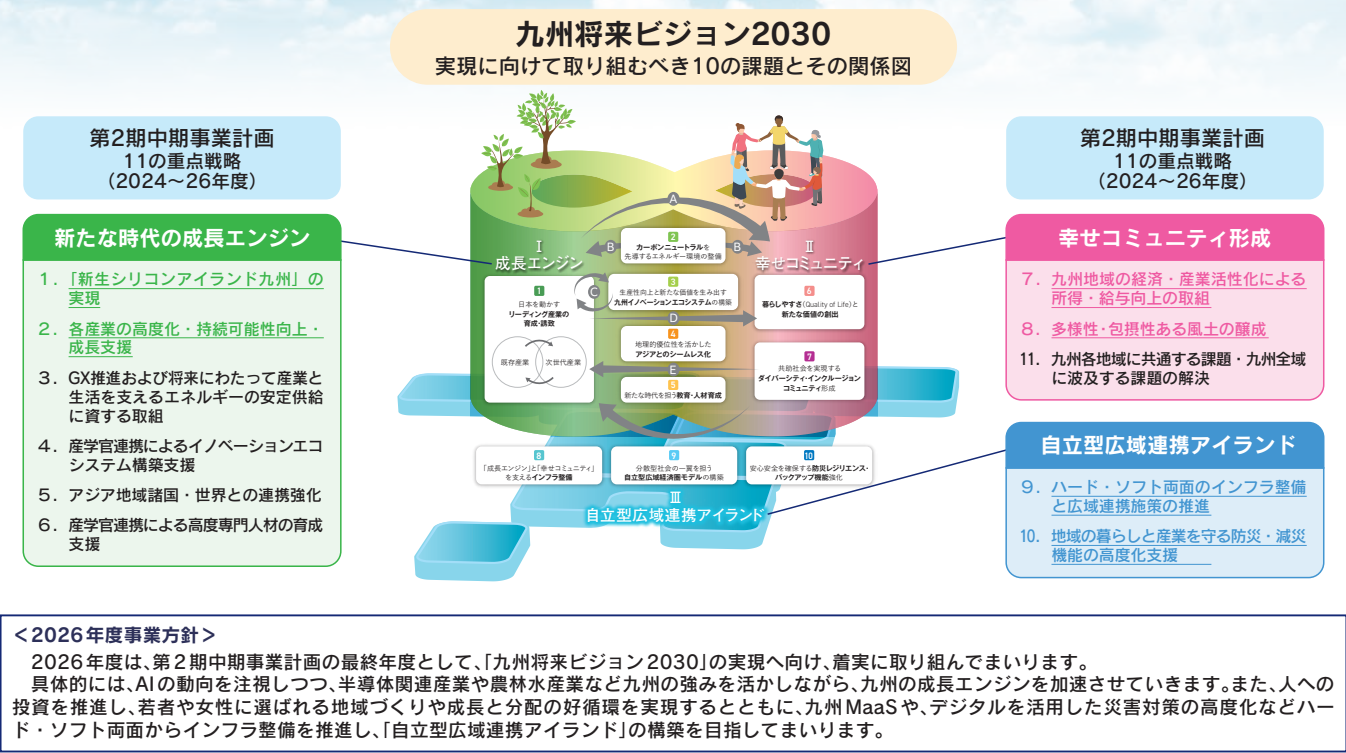
一般社団法人
九州経済連合会

■ 九経連運営組織図



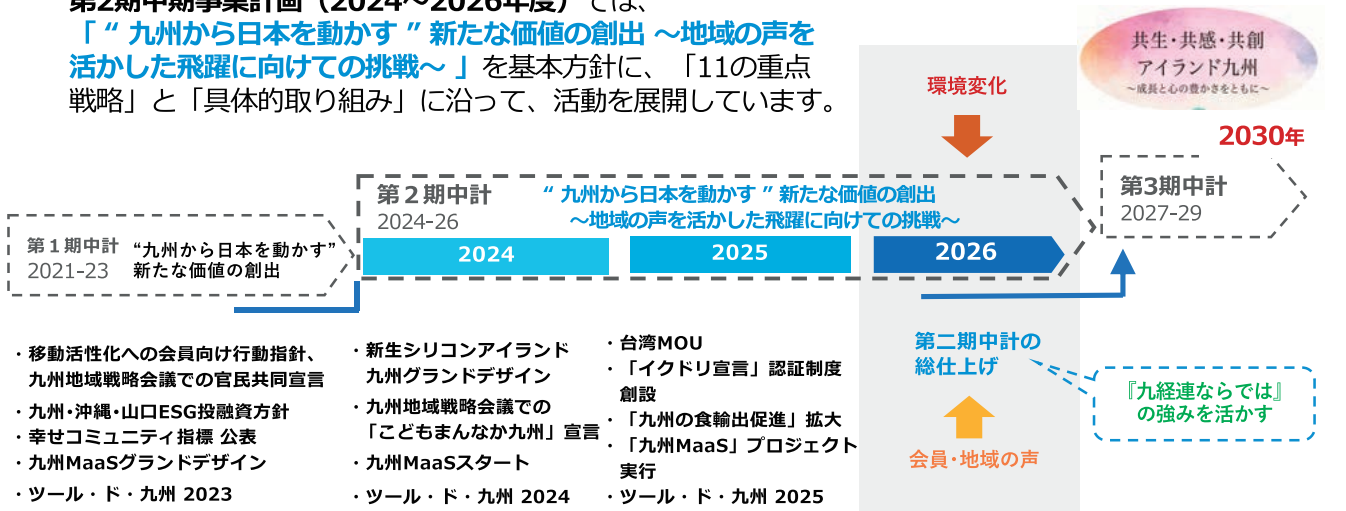
- 資源エネルギー・環境委員会
- 産業振興・デジタル推進委員会
- 地域共創委員会
- 交通委員会
- 関門連携委員会
- 北九州地域委員会
- 筑後地域委員会
- 佐賀地域委員会
- 長崎地域委員会
- 熊本地域委員会
- 大分地域委員会
- 宮崎地域委員会
- 鹿児島地域委員会
- 山口地域委員会

九州から日本を動かす Move JAPAN forward from 九州！



＜第2期中期事業計画＞

第2期中期事業計画（2024～2026年度）では、「九州から日本を動かす」新たな価値の創出～地域の声を活かした飛躍に向けての挑戦～」を基本方針に、「11の重点戦略」と「具体的取り組み」に沿って、活動を展開しています。



■ 九経連の主な活動成果

1 インフラ整備

九州新幹線・西九州新幹線早期開業	
1988年	九州新幹線建設推進研究会発足
1991年	九州新幹線新八代～鹿児島中央間着工、2004年同区間開業
2011年	九州新幹線博多～新八代間開業
2022年	西九州新幹線長崎～武雄温泉間開業

高速道路の整備	
1988年	九州縦貫自動車道完成
1996年	九州横断自動車道完成
2016年	東九州自動車道(北九州～宮崎)開通

2 「九州はひとつ」へ向けた取り組み

九州一体となった国際化戦略／官民一体となった九州の発展戦略	
2001年	九州経済国際化推進機構設立
2003年	九州地域戦略会議設立
2005年	九州観光推進機構設立
2008年	九州地域戦略会議「道州制九州モデル」発表
2011年	「低炭素社会を目指す九州モデル」策定
2014年	「九州・沖縄地方成長産業戦略(Earth戦略)」策定
2015年	「再生可能エネルギーの産業化を目指すアクションプラン」策定
2015年	「九州創生アクションプラン(JEWELSプラン)」策定
2019年	「九州国際医療機構」設立
2020年	「第2期九州創生アクションプラン(JEWELS+)」策定
2020年	「九州プロモーションセンターinハノイ」開設
2022年	「九州・沖縄・山口ESG投融資方針」策定
2022年	「(一社)ツール・ド・九州」設立
2023年	「マイナビ ツール・ド・九州2023」開催(初年度)
2024年	「(一社)九州MaaS協議会」設立
2024年	「新生シリコンアイランド九州グランドデザイン」策定

3 産業振興

自動車・二輪車メーカーの集積	
1967年	「九州地域における自動車工場立地の可能性」発表
1975年	日産自動車(株)九州工場(現：日産自動車九州(株))操業
1976年	本田技研工業(株)熊本製作所操業
1992年	トヨタ自動車九州(株)宮田工場操業
2004年	ダイハツ九州(株)大分(中津)工場操業

農林水産業振興	
2013年	「九州地域の森林・林業・木材産業アクションプラン」策定
2015年	「水産業アクションプラン」策定
2015年	九州農水産物直販(株)設立
2020年	「九州の食輸出協議会」設立

4 学術・文化の振興、産学連携

九州国立博物館の設置	
1992年	九州国立博物館設置促進財団設立
2005年	九州国立博物館開館

九州大学学術研究都市構想の策定及び実現	
2001年	「九州大学学術研究都市構想」策定
2004年	(財)九州大学学術研究都市推進機構設立

産学連携	
2010年	産学連携懇談会設置